

研究主題

考える力を高め、学びを深化させる学習指導のあり方を求めて
～「対話」「振り返り」の視点から～

各種調査結果より 本校の現在の課題 … 思考力

教員用

自分で みんなで 考える 金沢型学習スタイル

すべての場面で、書いたり話したりする言語活動を大切に

導入

展開

終末

学習のめあてをつかみます

- ◆問題意識を高める
 - 前時の学習や既習事項との違いを確認する
 - 思考や認識をゆさぶる資料や問題を提示する など
- ◆学習の見通しを立てる活動を取り入れる
 - 解決に必要な事柄を整理する
 - 予想や仮説、学習計画を立てさせる など

自分で考えます

- ◆書く時間と場を保障したり、考えをもつための具体的な活動を設定したりする
 - 文章や資料、式等を読み取らせる
 - 作業的・体験的な活動を取り入れる など
- ◆書く内容や書き方について指導する
 - 根拠や過程を書かせる
 - 言葉に加え、必要に応じて図や式なども書かせる など

自分の考えを伝え合います

- ◆相手や目的に応じた分かりやすい説明を促す
 - 資料や具体物、式、図等を活用させる
 - 聞き手を意識した話し方を促す など
- ◆発言内容の確実な理解を促す
 - 確認のために問い返す
 - 必要に応じてペアでの確認を取り入れる など
- ◆自分の考えとの共通点や相違点を整理して聞くよう促す
 - 意見と根拠・理由を整理して聞くよう促す など

みんなで考えを深めます

- ◆共通点や相違点、よりよい表現を考える活動を取り入れる
- ◆分類したり、特徴を考えたりする活動を取り入れる
- ◆関連付けて解釈したり、総合的に考察したりする活動を取り入れる
 - 比較、分類、関連付けを意識して板書する
 - 考えを深めるための発問をする
 - 視点を明確にする資料を提示する
 - ペアやグループ等の具体的な活動を取り入れる など

「わかった」「できた」をまとめます

- ◆自分の言葉でまとめるよう促す
 - 学習のめあてに照らし合わせて書かせる
 - 学習したことを板書をもとに確認する など
- ◆振り返る活動を取り入れ、次時の学習への意欲につなげる
 - 「考えの広がりや深まり」「新たな疑問」「学んだ方法」などについて振り返らせる など
- ◆個々の理解度や達成度等を把握し、変容の自覚を促す
 - 本時のねらいに合った練習問題、演習等に取り組ませる
 - 学習の結果を価値付け、評価する など

学習の構えをそろえます

- ◆授業開始時に、必要なものが机の上に準備されているかを確認する
- ◆教師自ら時間を守り、チャイムと同時に授業を始める
- ◆挨拶で気持ちを切り替えるよう指導する

家庭学習もがんばります

- ◆家庭学習の方法と内容を具体的に提示する
- ◆保護者に対して児童生徒の家庭学習を促したり、確認したりするよう協力を求める
- ◆学習内容に対して点検・評価を行う

・すすんで学び、考えます ・きまりや約束を守ります ・思いやりの心を大切にします 「金沢子どもかやき宣言」より

【金沢市教育委員会】

野田中学校 学びのスタイル

課題

考えがいのある思考課題の設定
 生徒の学習意欲を喚起する探究型の課題設定
 作業課題ではなく思考課題を設定 ※「認知限界ぎりぎり」の課題
 ×「～しよう」
 ◎「なぜ～なのか」「どのように～か」「どうすれば～だろう」
 ※全員が考えを持てるように ※導入で学習の見通しを立てる

生徒一人ひとりが課題に対する考えをもつ

個人思考の時間を持つ
 ※生徒に型を用いるなどして書かせ、課題について考えさせる

対話

生徒どうしが分からないことを互いに訊き合う
 ×教師と個々の生徒の一問一答 ×教師がずっと話している
 ○ペア・グループで考えを深める
 グループは男女混合4人が基本

互いに訊き合い、深め合う

例：多様な考え、視点への気づき →多面的・多角的な思考
 「聞く」→「聴く」、「訊く」

教師の役割

生徒の状況をつかみ、働きかける
 子どもどうしをつなぐ（問い返し）、子どもに戻す
 対話で得られた成果を共有する

対話指導のスキルが重要

※具体的な対話指導の例を参考に行う

まとめを行い、学習内容をおさえる（書く・言葉でおさえる）

振り返り 日々行い、単元に一度は深い振り返りを行う

振り返り学習内容の確認 関連付けや一般化 自己変容の確認

新学習指導要領の重点とのかかわり
…下線部

考えがいのある課題設定
 ↓
 意欲的な学習態度、学びに向かう力

課題・ねらいに応じた思考ツールの活用は効果的

生徒一人一人が考えを持ってから学び合いを行う
 →個人の思考の外化→学び合いの深まり

対話によって思考力の向上が図られる
 深い思考によって学びが深まる

協働的問題解決力の育成 人間性の涵養
 将来の、未知の場面でも活用できる力の育成

〔理解のもとになる思考〕

念入りに観察して記述する 説明や解釈を作りあげる
 根拠をもとに推論する 関係づける
 異なる視点を考慮する 核心を見抜いて結論を導く
 疑問に思っ質問する 乱雑なものを単純化して深める
 パターンを見つけて一般化する
 可能性とオルタナティブ(別の方法や考え方)を見出す
 根拠、議論、実行を評価する
 計画し、実行をモニタリング(経過を観察)する
 問題、仮説、偏見を見極める
 優先順位、条件、何が分かっているかを明確にする …

生徒が「何を学んだのか」
 「何ができるようになったのか」
 が明確になる

主体的・対話的で深い学びの実現へ